

楽しく学んで、しっかり身につく



やり抜く力の育て方

今月号の巻頭特集は将来に役立つための能力の一つ「やり抜く力」について紹介しています。新型コロナウイルスの流行もあつたように、将来の予測が困難な時代といわれています。このような時代に求められるのは答えのない問題を解く力。文部科学省の学習指導要領でも「未知の状況にも対応できる力の育成」が進められています。才能よりも必要な能力といわれ、幼少期の過ごし方次第で大きく変わります。ぜひ参考にしてください。

才能や能力よりもやり抜く力

子どもが安心してできる環境づくり

多様な体験を通してやり抜く力を育む

心 理学者で子どものやり抜く力の研究を行う、ペンシルバニア大学のアンジェラ・ダックワース教授によれば、世界で活躍する人に共通してみられるのはIQの高さや運動神経、体格などの生まれ持った資質ではなく、粘り強く取り組む、やり抜く力だといわれています。どんなに素晴らしい才能があっても、最後までやり遂げることができなければ、当然結果はついてきません。やり抜く力は幼児期の育つ環境や周りの働きかけによって、培うことができるという言葉が聞かれています。

こ こは楽しく安全な場所。自分はこの場の大切な員」と感じられる環境で、やり抜く力は健やかに育ちます。親と子の信頼関係があるからこそ「頑張るぞー」と自発的なやる気を持続させることができます。一方で「頑張るぞー」といって結果に焦点があてられがちです。目標を達成させることを目指すアプローチでは、安心感は育ちにくく自発的なやる気を持続することは難しいでしょう。

や り抜く力は幼稚園・保育園・塾や英会話といった習い事でも育まれます。好奇心に溢れ、夢中で取り組む状態でこそ様々な力が育まれるので、子どもの興味関心を観察しながら進めていきましょう。例えばダンス教室ならば動画で同じ年頃の子が踊る様子をみたり、ダンス公演を観に行くことなどで関心を高められるでしょう。「1学期が終わるまでは続けようね」と期間を決め、一旦始めたら途中で嫌になつたとしても、なるべく同意した期間は続けるようにしたいです。また幼稚園や保育園でも、家庭のように子どもが安心してできる環境づくりを心がけています。園での楽しかった出来事について話しあい、友達や先生に手紙を書くなどをしてよいでしょう。子どもによっては、い子に過ごそうと頑張る、家に戻ると糸が切れたようにグズグズすることもあつたかもしれません。そうした場合は、家庭でより自分らしくリラックスさせてあげましょう。

通園や習い事をはじめると保護者以外の大人と関わる機会が増えます。親子関係と同様、先生と子どもが信頼関係で結ばれるこ

とで、やり抜く力も育みやすくなります。子どもの個性を理解し、成長を促してくれる大人のサポートが必要です。



① 温もりある信頼関係を築く

日々子どもに向き合っていれば、イライラしたり怒ったりということがあつたとしても、「お父さんお母さんは私のことが大切なんだな」と感じられるよう、寝る前には「大好きだよ」と抱きしめるのを日課にする方法も一つです。



② 結果よりも過程に関心を向ける

子どもが目標を達成した時は、結果よりも頑張った過程を褒めると、子どものやる気が続きます。例えば「ピアノ発表会で上手に弾けてすごいね!」よりも「毎日練習続けたから上手に弾けたね!」と褒めてあげましょう。



③ 問題を解決できるという自信とスキルを育む

うまくいかないことがあつたら「他に何ができるかな?」と話し合い、具体的な行動を起こすサポートをします。困難にぶつかつても「何とかできる」と立ち上がることで自信とスキルを培いましょう。

この方に聞きました



長岡 真意子さん Nagaoka Maiko

子育て研究者。北米にて幼児教室・小中高生クラス・大学講師として、様々な文化背景を持つ子どもの育ちを20年間指導する。国内外の資料を基に執筆した子育て記事多数。著書に「敏感な子を育てるママの不安がなくなる本」がある。名古屋大学大学院人間情報学研究所修士課程修了。「ユア子育てスタジオ (http://kosodatekyua.com/)」代表。

子どもの可能性を伸ばす先生を紹介 /

北摂の習い事・スクールでは、どのようにして子どもの「やり抜く力」を育むのか。それぞれの先生に聞きました。

WEBでも「やり抜く力の育て方」を紹介情報紙CityLifeのWEB「City Life News」でさらに詳しく紹介しています。
<https://citylife-new.com/>



デビッド先生 KINOCODE・江坂教室

専門スキルを活かし興味・関心を引き出す

自身のITスキルと英語力を活かせる仕事として講師を務めるようになったデビッド先生。先生を始め在籍する外国人講師は、プログラミングの専門家ばかり。その知識を活かし、生徒がどこで悩んでいるのか、を素早く察知する。「生徒自身が考えたこと、決めたことをサポートし、共に形にしていくのが私たちの役目です」とデビッド先生。授業では英語での会話が楽しめるよう、積極的に話しかけ楽しい雰囲気作りを心がけている。

デビッド先生にインタビュー!

レポートはこちら



オーダーメイドの学習方法

ゴールをしっかりと設定し、達成するために日々の目標にまで学習内容を落とし込んでいくという古川先生。日々の目標をやり抜くことで着実にゴールへと近づいていることが実感でき、モチベーションにもつながっている。「わかっているつもり」をなくして「理解」へと進めるために、つまづく度、さかのぼって学び直すなど、学びに妥協がなく、1歩1歩着実に前進させてくれる。勉強方法は生徒と一緒に考え、生徒の良さを生かした指導も実践している。

古川先生 セルモ豊中緑丘教室



古川先生にインタビュー!

レポートはこちら



1 2

オーエン先生

グローバルヴィレッジインターナショナルプリスクール

個性を伸ばし、国際人として羽ばたく「力」を子どもたちに

オーエン先生はグローバルヴィレッジ3校を統括し、教育プログラムづくりや講師の指導などを行う園長先生。「大切なのは、子どもたちの『興味心』。子どもが先生に合わせるのではなく、先生が子どもの個性を受け入れることが大切なんです。大人が創造力を持って、ワクワクするような体験をさせてあげることが子どものやり抜く力を伸ばします」とオーエン先生。「英語の語学学校ではなく、国際人・地球人を育てる園でありたい」という創始者ジョー先生のコンセプトを基に、園を引っ張る存在だ。

オーエン先生にインタビュー!

レポートはこちら



亀田先生

ちびっこランド服部緑地園・江坂園

毎日が成長、「人間力」が身につく保育園

亀田さん自身が5人の子育てを経験。子どもを納得して預けられる場所を探る中で、保育の世界に興味を抱き勉強に打ち込む。10年前にちびっこランド服部緑地園、昨年江坂園を開園。「時代を生き抜く“人間力”を身につけて欲しい」という想いの元、成長と自立を促す保育を実践している。「悩みを相談すると、親身に明確な答えをくれるので抱えこまずに子育てができています」とは保護者の声。厳しさの中にも深い愛情があり、園児もみんな亀田代表が大好き!



代表 亀田有美先生にインタビュー!

レポートはこちら

